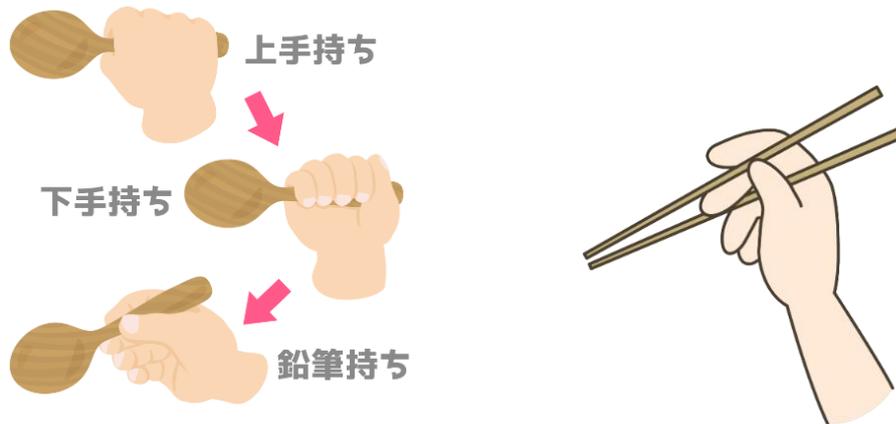
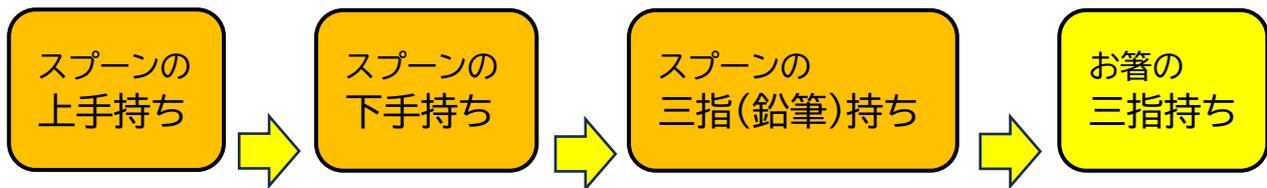


給食だより ～臨時号～ 「スプーンからお箸への移行」

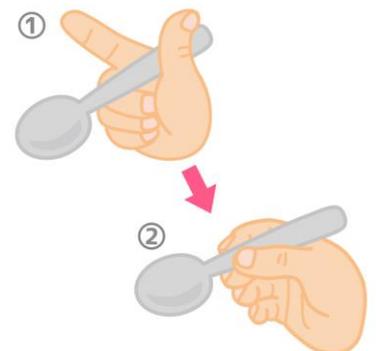


◆スプーンとお箸



◆スプーン三指持ちのやり方

- ①軽くピストル型の手にして、くぼみにスプーンを置きます。
- ②そのまま2本の指をくっつけるように持たせます。



◆スプーンからお箸へ移行する目安

- ・ピースサインが出来るようになる
 - ・スプーンとフォークを三指持ちで下から持てるようになる。
- ➡指を上手に動かせるようになった目安になります。

子どもの発達は何でも個人差があるため、箸を使える年齢にも幅があります。周りと比較はせず、スプーンが上手に使えるようになったら、箸の練習を始めていくのがおすすめです。

決して叱らず、気長に根気強く声をかけ、楽しい食事の時間を過ごしていきましょう。



花山認定こども園では、



補助付きのお箸の使用を 推奨していません。

補助付きのお箸は上下の箸が固定されてトング状になっており、
指を通すリングなどが付いている物です。

- ・子どもは、お箸を使えたような気持ちになる。
- ・保護者は、子どもがお箸を使っているようで安心する。



- ・手指の発達に関わらず、使うことが出来てしまう。
- ・通常のお箸に移行する際、上手く持てず拒否感が出やすい。
- ・鉛筆とハサミも正しく持てないケースが多い。



「補助付きのお箸が使える」=「お箸を正しく持てる」は間違いです。

お気軽に保育教諭・栄養士にご相談下さい。